【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年6月5日(2024.6.5)

【公開番号】特開2022-17182(P2022-17182A)
【公開日】令和4年1月25日(2022.1.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-013
【出願番号】特願2021-93140(P2021-93140)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ 16/13(2019.01)
Ｈ０４Ｎ 21/231(2011.01)
Ｈ０４Ｎ 21/845(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76(2006.01)
Ｈ０４Ｎ 19/70(2014.01)
Ｇ１１Ｂ 20/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ 16/13
Ｈ０４Ｎ 21/231
Ｈ０４Ｎ 21/845
Ｈ０４Ｎ　5/76
Ｈ０４Ｎ 19/70
Ｇ１１Ｂ 20/10 ３１１

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月28日(2024.5.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明の第１の側面によれば、メディアファイルを生成する方法が提供され、該方法は、
メディアデータから１つまたは複数のサンプルを取得することと、
それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造を生成することと、
前記１つまたは複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成することと、
を含み、
前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを生成する方法が提供され、該方法は、
メディアデータの複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つ

または複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造を生成することと、
　前記複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成することと、
を含み、
　前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを生成するデバイスが提供され、該デバイスは、
　メディアデータから１つまたは複数のサンプルを取得することと、
　それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造を生成する手段と、
　前記１つまたは複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成する手段と、
を備え、
　前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを生成するデバイスが提供され、該デバイスは、
　メディアデータの複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造を生成する手段と、
　前記複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成する手段と、
を備え、
　前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを処理する方法が提供され、該方法は、
　１つまたは複数のサンプルと、それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを取得することと、
　前記１つまたは複数のサンプルを含むメディアデータを処理することと、を含み、
　前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数

のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを処理する方法が提供され、該方法は、
複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造と、前記複数のサンプルと、を含むメディアファイルを取得することと、
前記複数のサンプルを含むメディアデータを処理することと、を含み、
前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを処理するデバイスが提供され、該デバイスは、
１つまたは複数のサンプルと、それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを取得する手段と、
前記１つまたは複数のサンプルを含むメディアデータを処理する手段と、を備え、
前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明の他の側面によれば、メディアファイルを処理するデバイスが提供され、該デバイスは、
複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造と、前記複数のサンプルと、を含むメディアファイルを取得する手段と、
前記複数のサンプルを含むメディアデータを処理する手段と、を備え、
前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項１】
メディアファイルを生成する方法であって、
メディアデータから１つまたは複数のサンプルを取得することと、
それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造を生成することと、
前記１つまたは複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成することと、
を含み、
前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む、方法。
【請求項２】
複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第２のデータ構造であって、第２のグループ化タイプを含む前記第２のデータ構造を生成することをさらに含み、
前記メディアファイルは、前記第２のデータ構造をさらに含む、
請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１のグループ化タイプおよび前記第２のグループ化タイプは、同じグループ化タイプを示す
請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータは、フラグであり、
前記フラグが設定されている場合、前記第１のデータ構造が、前記１つまたは複数のサンプルグループを含む１つのトラックの全てのサンプルに適用されるプロパティ値の単一セットを含むことを示す
請求項１乃至３の何れか１項に記載の方法。
【請求項５】
前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータが、第１の値である場合は、
各サンプルグループを記述するためのデータが時間的に不変であるが、各サンプルグループを構成する複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットは時間的に変化し得ることを示す、
請求項２または３に記載の方法。
【請求項６】
前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータが、第２の値である場合は、
各サンプルグループを記述するためのデータが時間的に不変であるが、デフォルトサンプルグループのマッピングは時間的に変化し得ることを示す、
請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータが、第３の値である場合は、
各サンプルグループを記述するためのデータが時間的に不変であり、かつ、前記第１のデータ構造が、前記１つまたは複数のサンプルグループを含む１つのトラックの全てのサンプルに適用されるプロパティ値の単一セットを含むことを示す
請求項５または６に記載の方法。
【請求項８】
前記第２のデータ構造は、ＳａｍｐｌｅＴｏＧｒｏｕｐボックスで構成される

請求項２または３に記載の方法。
【請求項９】
前記第１のデータ構造は、グループ化タイプが「ｎａｌｍ」のサンプルグループ記述ボックスで構成され、
前記第１のグループ化タイプは、グループ化するサンプルボックスのグループ化タイプパラメータと同じである
請求項１乃至８の何れか１項に記載の方法。
【請求項１０】
メディアファイルを生成する方法であって、
メディアデータの複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造を生成することと、
前記複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成することと、
を含み、
前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む、方法。
【請求項１１】
前記第１のデータ構造のグループ化タイプの値は、プロパティを識別可能な値であり、
前記第１のデータ構造のプロパティの値のセットのインデックスは、識別されたプロパティに対応するプロパティの値のセットを含む
請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータは、前記第１のデータ構造の前記グループ化タイプの値である
請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータは、前記第１のデータ構造内のパラメータである
請求項１１に記載の方法。
【請求項１４】
前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第２のデータ構造を生成することをさらに含み、
前記サブセットの各サンプルは１つまたは複数のＮＡＬユニットを含み、
前記第１および前記第２のデータ構造は、サンプルのサブセットと１つまたは複数のＮＡＬユニットの複数のグループを記述する複数のサンプルグループとの間のマッピングを示す同一のグループ化タイプの値を含み、
前記第１のデータ構造に含まれるグループ化タイプパラメータ値は、プロパティを識別可能な値であり、
前記第２のデータ構造に含まれる１つまたは複数のＮＡＬユニットの各グループを記述するデータのグループ識別値は、識別されたプロパティに対するプロパティの値のセットを含む
請求項１０乃至１３の何れか１項に記載の方法。
【請求項１５】
前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータは、前記グループ化タイプパラメータ値である
請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータは、前記第１のデータ構造のフラグである
請求項１４に記載の方法。

【請求項１７】
請求項１乃至１６の何れか１項に記載の方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムの命令を格納したコンピュータ可読記憶媒体。
【請求項１８】
請求項１乃至１６の何れか１項に記載の方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。
【請求項１９】
メディアファイルを生成するデバイスであって、
メディアデータから１つまたは複数のサンプルを取得することと、
それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造を生成する手段と、
前記１つまたは複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成する手段と、
を備え、
前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む、デバイス。
【請求項２０】
メディアファイルを生成するデバイスであって、
メディアデータの複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造を生成する手段と、
前記複数のサンプルと、前記第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを生成する手段と、
を備え、
前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む、デバイス。
【請求項２１】
メディアファイルを処理する方法であって、
１つまたは複数のサンプルと、それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを取得することと、
前記１つまたは複数のサンプルを含むメディアデータを処理することと、を含み、
前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む、方法。
【請求項２２】
メディアファイルを処理する方法であって、
複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造と、前記複数のサンプルと、を含むメディアファイルを取得することと、
前記複数のサンプルを含むメディアデータを処理することと、を含み、
前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む、方法。
【請求項２３】
メディアファイルを処理するデバイスであって、
１つまたは複数のサンプルと、それぞれ１つまたは複数のサンプルからなる１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータを含む第１のデータ構造と、を含むメディアファイルを取得する手段と、
前記１つまたは複数のサンプルを含むメディアデータを処理する手段と、
を備え、

前記第１のデータ構造は、第１のグループ化タイプを含み、かつ、前記１つまたは複数のサンプルグループのそれぞれを記述するためのデータが時間的に不変であるか否かを示すためのデータを含む、デバイス。

【請求項２４】

メディアファイルを処理するデバイスであって、

複数のサンプルまたは複数のサブサンプルからなるサブセットを１つまたは複数のサンプルグループに割り当てる第１のデータ構造と、前記複数のサンプルと、を含むメディアファイルを取得する手段と、

前記複数のサンプルを含むメディアデータを処理する手段と、

を備え、

前記第１のデータ構造は、前記１つまたは複数のサンプルグループが仮想的であることを示すデータを含む、デバイス。